一般社団法人
教育システム情報学会

Japanese Society for Information
and Systems in Education

ニューズ・レター No.195

JSiSE
発行日 2015年3月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 前迫 孝憲
〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光３丁目3-25-101
TEL&FAX 06-6324-7767
URL http://www.jsise.org
E-MAIL secretariat@jsise.org

●○●○●○●○●○●○≪ も く じ ≫●○●○●○●○●○●○●

2015 年度 第 40 回全国大会のご案内・・・・・・・・・2-3
2015 年度 第１回研究会 プログラム・・・・・・・・・・4-6
2014 年度 第６回・特集論文研究会開催報告・・・・・・7-8
2015 年度 研究会 年間開催予定・・・・・・・・・・・・・8
学会誌特集号論文募集・・・・・・・・・・・・・・・・9-10
Call for Papers：Journal of Information
and Systems in Education, Vol. 14・・・・・11
学会誌・研究報告バックナンバー購入のご案内・・・・12
事務局より「会員情報管理システムの運用開始と、
2015 年度年会費請求書発行のお知らせ」・・13
新入会員のご紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
他団体協賛・後援のお知らせ・・・・・・・・・・・・14
支部活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・15-16
国際会議のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

●○●

2015 年度 JSiSE
全国大会（第 40 回）のご案内

テーマ： 変動社会における教育システム情報学

http://www.jsise.org/taikai/2015/

■ 開催日時： 2015 年 9 月 1 日(火) ～ 9 月 3 日(木)

■ 会　　場： 徳島大学 常三島キャンパス(〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1)

■ 主　　催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程（予定）

9 月 1 日（火）	
午前	プレカンファレンス
昼	開催校挨拶・基調講演・企業セッション
午後	一般セッション・インタラクティブセッション
9 月 2 日（水）	
午前	一般セッション
昼	40 周年記念シンポジウム
午後	インタラクティブセッション（含学生セッション）・企画セッション
夜	懇親会
9 月 3 日（木）	
午前	一般セッション
昼	クロージングセッション・表彰
午後	招待講演（公開）・公開フォーラム

(*) 大会日程は変更の可能性があります.

■ 大会までのスケジュール

投稿締め切りの後に，参加申し込みが開始されます．発表者には，参加申し込み開始時にメールでご連絡いたします.

○ 2015 年 4 月 9 日(木)　講演申込・投稿開始

○ 2015 年 5 月 13 日(水)　講演申込締切

○ 2015 年 6 月 10 日(水)　投稿締切

○ 2015 年 6 月 12 日(金)　参加申込開始

○ 2015 年 7 月 10 日(金)　[発表者] 参加申込締切

○ 2015 年 8 月 4 日(火)　[発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)

○ 2015 年 8 月 12 日(水)　[発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員： 7,560 円 学生会員： 3,240 円 非会員（学生以外）： 10,800 円 非会員（学生）　　： 5,400 円 論文掲載料　： 1,000 円（論文一編につき）	一般会員： 8,500 円 学生会員： 4,000 円 非会員（学生以外）： 12,000 円 非会員（学生）　　： 6,500 円
全国大会当日，またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は，会員料金でお申し込みいただけます.	
［懇親会費］ 一般： 7,000 円　　学生： 3,000 円	［懇親会費］ 一般： 8,000 円　　学生： 3,000 円

参加費等はいずれも税込みです．支払いの詳細は，大会 Web サイトをご覧ください.
プレカンファレンスのみに参加する場合は，大会参加登録，および参加費の支払いは不要です.

■ プログラム

プログラムは変更の可能性があります．最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします.

○　企画セッション（9 月 2 日(水)）

1. e ラーニング環境のデザインと人材マネジメント
2. 新しい時代を生きる子どもたちのための情報リテラシー教育
   --日本における情報教育の現状と問題点--
3. 大学間連携に基づく新しい教育・学習環境
4. 新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン
5. 身体知・経験知に関わる学習支援のデザインと評価
6. アクティブラーニングと情報活用能力
7. サスティナブルな医療者教育を目指した先進的教育デザイン
8. 教学 IR や Learning Analytics によるマルチレベルな学習分析と教育改善を目指して
9. プレゼンテーションにおける学習支援
10. 能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践
11. 実践的情報教育の手法と適用事例

■ 予稿集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し，CD-ROM、および Web による配布としております．Web 版の予稿集は，8 月 25 日(火)に大会参加者のみに公開され，2016 年 3 月 1 日(火)に一般公開されます.

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします．お申し込み先など，詳細は大会 Web サイトをご覧ください.

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております．ご協力賜りますよう，よろしくお願い申し上げます．詳細は大会 Web サイトをご覧ください.

■ 大会事務局

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号
教育システム情報学会 全国大会委員会
E-mail： jsise-desk@bunken.co.jp

教育システム情報学会（JSiSE）
2015 年度 第 1 回研究会　プログラム

研究会委員会担当：仲林 清（千葉工業大学），松居 辰則（早稲田大学），
北村 士朗（熊本大学），　真嶋 由貴恵（大阪府立大学），
加藤 泰久（ＮＴＴ），　櫻井 良樹（熊本大学）

■テーマ：e ラーニング環境のデザインと組織マネージメント
／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般

■ 開催日：2015 年 5 月 23 日（土）

■ 会　場：千葉工業大学 津田沼キャンパス
http://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma.html
http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/index.html

■備　考：電子情報通信学会 ET 研究会と同時開催です.

■□■□■□■□■プログラム ■□■□■□■□■

[挨拶　9:40-9:45]

[セッション A1 9:45-10:30]

(A1-1)9:45-10:05

Web コンテンツを活用した数学教育についての報告

○松田健(静岡理工科大学)

(A1-2)10:05-10:30

データアナリティックスを用いる大学教育支援環境の検討

○豊川和治(日本大学)

[セッション B1 9:45-10:30]

(B1-1)9:45-10:05

企画制作演習における相互評価の組み合わせと学習効果の関係

○小嶋聡(京都コンピュータ学院)

(B1-2)10:05-10:30

次世代農業の人材育成と e ラーニング

○江見圭司(京都情報大学院大学)

[休憩 10:39-10:40]

[セッション A2 10:40-11:55]

(A2-1)10:40-11:05

PC 利用による潜在的バリア解消を目指したブロック型プログラミングツール P-CUBE

○本吉達郎，黒澤進太郎，増田寛之，小柳健一，大島徹（富山県立大学），川上浩司（京都大学）

(A2-2)11:05-11:30

ソフトウェア開発における詳細設計能力修得支援システムの開発

○内田浩太郎，仲林清(千葉工業大学)

(A2-3)11:30-11:55

マンガケース教材の学習支援システムの構築について

○高橋聡(東京工業大学)，高橋徹(東京理科大学),吉川厚,寺野隆雄(東京工業大学)

[セッションB2 10:40-11:55]

(B2-1)10:40-11:05

米国におけるオンラインコース向けデジタルバッジに関する動向調査と国内での活用の検討

○中嶌康二，藤島真美，合田美子(熊本大学)

(B2-2)11:05-11:30

企画制作演習における相互評価の組み合わせと学習効果の関係

○坪倉篤志(九州工業大学・日本文理大学)，田中泰斗，竹内章（九州工業大学)

(B2-3)11:30-11:55

対話形式による理解度確認システムの提案

○菅原愛子，須田宇宙(千葉工業大学)

[昼食 11:55-13:00]

[特別講演セッション 13:00-14:00]　※電子情報通信学会ET研究会との同時開催企画

招待講演

ET研究会と工学教育ならびに仕事場における学習の支援

○伊藤紘二（東京理科大)

[休憩 14:00-14:15]

[セッションA3 14:15-15:30]

(A3-1)14:15-14:40

遠隔医療教育システムの利用と問題点

○讃岐勝，吉本尚，浜野淳，鈴木英雄，前野哲博(筑波大学)

(A3-2)14:40-15:05

Web-Learningを組み込んだ医用工学教育

○本間達(東京医科歯科大学)

(A3-3)15:05-15:30

医学・看護教育の方向性と合わせた全学的なICT基盤環境のデザイン

○坂田信裕，山下真幸、上西秀和、坂東宏和(獨協医科大学)

[セッションB3 14:15-15:30]

(B3-1)14:15-14:40

グループディスカッションによる問題の質向上を目的とした作問学習手法の検討

○原一生，高瀬裕矢，大久保匠，仲林清(千葉工業大学)

(B3-2)14:40-15:05

組織における問題解決を主題とするビデオとオンラインレポートを
活用した授業の受講者レポート分析

○仲林清(千葉工業大学)

(B3-3)15:05-15:30

小規模組織における実力養成支援ツールに関するシステム考察
－"学習基盤"コンセプトおよびその実践－

○井上一郎(京都産業大学)

[休憩 15:30-15:45]

[セッションA4 15:45-17:00]

(A4-1)15:45-16:10

ヘルスケアの学習を促すアクティブラーニングを取り入れた授業デザイン

○真嶋由貴恵(大阪府立大学)

(A4-2)16:10-16:35

タブレットPCによりゲーム感覚で学べる腰痛誘発姿勢の学習支援ツール

○川野常夫，福井裕（摂南大学）

(A4-3)16:35-17:00

学内ｅラーニングシステムを活用した技術演習（一時的導尿）の検討

○平野加代子，徳永基与子(京都光華女子大学)，真嶋由貴恵(大阪府立大学)

[セッションB4 15:45-17:00]

(B4-1)15:45-16:10

画像データベースを活用した学生情報の管理手法に関する検討

○宮本伸之，柳沼良知（放送大学）

(B4-2)16:10-16:35

日本のオンライン大学におけるシラバスデータの分析

○上山光夫(放送大学)

(B4-3)16:35-17:00

Web上のプログラミングコンテンツの収集手法の検討

○柳沼良知（放送大学）

[挨拶 17:00-17:05]

****

教育システム情報学会 2014 年度第 6 回研究会報告

****

担当: 西野和典，西端律子，中村勝則，鷹岡亮

■テーマ　新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般

■開催日　2015 年 3 月 21 日(土) 10:00-17:00

■会　場　香川大学幸町キャンパス　　(〒760-8521 香川県高松市幸町 1 番 1 号)

http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/

■会場担当　林敏浩(香川大学)

■概要

2015 年 3 月 21 日(土)に、香川大学幸町キャンパスを会場として、特集論文研究会と共同で、第 6 回研究会を開催しました。今回の研究会テーマは「新たなネット時代のソーシャルメディアリテラシーと情報倫理/一般」でした。

具体的には、情報処理教育、情報リテラシー、情報モラル、プログラミング教育、e-learning、ブレンド型学習・遠隔学習や PBL を含めた授業デザイン・教育実践、e ポートフォリオ、認知・分析、タブレット端末の教育利用、学習支援システ ム・学習教材開発、学習支援手法など幅広い研究発表が行われ、3 つの会場各々で有意義な質疑応答や討論が展開される研究会となりました。年度末のお忙しい時にも関わらず、発表数は 34 件、参加者は特集論文研究会とあわせて 103 名、研 究会後に懇親会も行われ非常に盛会な研究会となりました。

次年度(H27 年度)の第 6 回研究会は、「21 世紀型能力と情報教育」をテーマに開催する予定です。多くの皆さまのご発表をお待ちしております。

最後に、第 6 回研究会でご発表、熱心にご議論頂きました参加者の皆さま、座長をお引き受け頂きました先生方、そして懇親会までご参加頂きました皆さまと会場校として準備・運営を行って頂きました林先生をはじめ香川大学スタッフの皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

****

教育システム情報学会 2014 年度特集論文研究会　開催報告

****

担当　小西達裕（研究会委員会/学会誌編集委員会）/東本崇仁（編集委員会・特集幹事）
笠井俊信（編集委員会・特集幹事）　/松浦健二（編集委員会・特集幹事）
益川弘如（編集委員会・特集幹事）　/森本康彦（編集委員会・特集幹事）

■テーマ：多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境

■開催日：2015年3月21日（土）

■会　場：香川大学幸町キャンパス（〒760-8521 香川県高松市幸町 1 番 1 号）

■概　要：

特集論文研究会は，2015年3月21日に香川大学幸町キャンパスにおいて第6回研究会（テーマ：新たなネット時代のソーシャルメディアリテラシーと情報倫理/一般）と共同開催されました．今回は，近年の情報処理技術の発展による情報端末の小型化や多様化，および利用者からの膨大な行動履歴情報の取得を背景とし，「多

様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する新たな教育支援技術，ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発をテーマとした発表を募集いたしました．結果として，17件（うち16件が後述のコメント希望）の発表が行われ、42名の方にご参加いただき，各会場とも熱心に議論が行われました．また，平行して開催された第6回研究会とも相互に参加が自由となっており，二つ合わせると，のべ103名の方が参加されました．

この特集論文研究会は他の研究会とは異なり，2016年4月発行の学会誌特集号への投稿を促進することを目的とし，前年までと同様に，特集号と同じテーマで発表を募集すると共に，希望者には研究会委員会と編集委員会からのコメントの提供を行いました．このコメントは発表後に手渡されました．また，本特集論文研究会のもう一つの特徴は十分な質疑応答時間の確保です．前述の研究会委員，編集委員からのコメントだけでは無く，研究会当日に参加者から様々な質問やコメントを受けることによって，研究を発展させて，よりよい論文を執筆していただくことを目指しています．各セッションでは通常よりも長いディスカッションの時間を十分に利用して各発表で活発な議論が展開され，発表によっては20分の質疑応答時間でもまだ足りないということもあり，セッション終了後にも熱心な議論が交わされる様子なども見られました．各発表者にとっては特集号への投稿の弾みになったと思われますし，次期特集号が質的にも量的にもとても充実したものになることを予感させる研究会となりました．

― 2015 年度　研究会開催予定 ―

第 1 回研究会（担当：仲林　清，松居辰則，北村士郎，真嶋由貴恵，加藤泰久，櫻井良樹）
◆テーマ：e ラーニング環境のデザインと組織マネージメント／ 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般 ◆日　程：5 月 23 日（土） ◆場　所：千葉工業大学
第 2 回研究会（担当：小松川浩，野崎浩成，布施　泉，不破　泰）
◆テーマ：ＩＣＴを活用した学習支援と教育の質保証／一般 ◆日　程：7 月 4 日（土） ◆場　所：北星学園大学　　※日本教育工学会研究会と同日開催
第 3 回研究会（担当：小西達裕，林 敏浩，安間文彦）
◆テーマ：第二言語学習支援／一般 ◆日　程：9 月 26 日（土） ◆場　所：静岡大学（浜松キャンパス）
第 4 回研究会（担当：三石　　大，光原弘幸，佐々木整）
◆テーマ：新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン(予定)/一般 ◆日　程：10－12 月 ◆場　所：岩手県立大
第 5 回研究会（担当：曽我真人，柏原昭博，小尻智子，長谷川忍）
◆テーマ：身体知・スキル支援／一般 ◆日　時：2016 年 1 月 23 日（土） ◆場　所：関西大学
第 6 回研究会（担当：西端律子，西野和典，鷹岡　亮，中村勝則）
◆テーマ：21 世紀型能力と情報教育/一般 ◆日　程：3 月中旬 ◆場　所：関西エリアを予定 **※特集論文研究会と同時開催を予定**

教育システム情報学会誌
特集号論文募集
―多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境―

近年の情報処理技術の進歩により，情報端末はますます小型で扱いが容易になり，タブレットやスマートフォンにとどまらず，ウェアラブル端末の普及も間近に迫っています．一方，これらの情報端末を含む情報機器から発信される利用者の膨大な行動履歴情報は，ビッグデータとして情報処理の新たな価値を産み出しつつあり，その可能性は未だ十分に開拓しつくされたとはいえないと考えられます．

当然, 教育システム技術にも, これらの情報端末やビッグデータの技術動向は，影響を及ぼしており，新たな情報端末の教育応用や，従来よりも格段に詳細な学習行動履歴情報を活用したラーニングアナリティクスと呼ばれる学習データ分析技術の研究開発が盛んになってきています．

以上のような状況を踏まえ，今回,「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する特集号を企画いたしました．当該分野における新たな教育支援技術，ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募りますので，奮ってご投稿ください．

1. 対象分野

「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する研究論文を幅広く募集します．キーワードは，次の通りですが，これに限定されるわけではありません．また,「多様な端末」,「大規模学習データ」のいずれかに関わる学習支援環境の研究であれば，本特集号の対象となります．

モバイルラーニング，ユビキタスラーニング，スマートフォン，タブレット，ウェアラブル端末，電子教科書，センサーネットワーク，IoT (Internet of Things)，学習クラウド，ソーシャルメディア，学習コミュニティ，学習ポートフォリオ，ビッグデータ，オープンデータ，ラーニングアナリティクス，など

2. 論文種別

通常と同様，すべての種別（原著論文，実践論文，ショートノート，実践速報）の論文を募集します．なお，査読結果により，異なる種別での採録となる場合もあります．また，編集委員会の判断で，一般投稿論文として扱うことになる場合もあります．あらかじめご了承ください．

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます．詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください． Web 投稿の際には以下の点にご注意ください．

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください．
- 特集研究会（2015 年 3 月 21 日（土）開催）で発表を行った方は，投稿情報入力の際に 「事務局への連絡事項」の欄に，特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください．

4. スケジュール

- 投稿論文原稿〆切：2015 年 6 月 8 日（月）
- 第 1 回査読結果通知：2015 年 9 月上旬ごろ
- 第 2 回査読結果通知：2015 年 12 月下旬ごろ
- 最終原稿提出：2016 年 2 月初めごろ
- 掲載予定巻号：2016 年 4 月 1 日発行予定の学会誌（Vol.33，No.2）

5. 特集号編集委員会

委員長　：仲林清（千葉工業大学）

副委員長：小西達裕（静岡大学），瀬田和久（大阪府立大学）

幹　事　：益川弘如（静岡大学），松浦健二（徳島大学），森本康彦（東京学芸大学）
東本崇仁（東京工芸大学），笠井俊信（岡山大学）

委　員　：学会誌編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：

  特集号編集委員会副委員長 小西達裕（静岡大学）

  E-mail: konishi@inf.shizuoka.ac.jp

- Web 投稿に関する問い合わせ：

  教育システム情報学会編集事務局

  電話：03-5389-6492，E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

  〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 14

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* annually since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for volume 13 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information communication technology (ICT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of ICT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that "e-learning" frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

The Journal of Information and Systems in Education aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

Scope:

The topics of papers include, but are not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

Important Date:

The submission deadline: 29 May, 2015

Instructions for Authors:

Please refer to the "Authors Instruction" in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.
http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf

Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:
https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal_e/applicant/login.html

Publication:

Vol. 14 will be published on the J-STAGE Web site. The papers accepted in the next year (2016) will be appeared in Vol.15.
http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/

Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office
E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は，㈱毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社　毎日学術フォーラム
〒100-0003　東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階
TEL　：03-6267-4550　／　FAX　：03-6267-4555
Mail ：maf－sales@mycom.co.jp　／　URL　：http://maf.mycom.co.jp

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。
■年間購読料　4,000 円／年 6 回発行＜送料込＞

新　入　会　員　募　集

一般社団法人教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、 そのほか、定期刊行物の論文誌、研究報告書(年間購読お申し込みの方)などがお手元に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Ｗｅｂページ（http://www.jsise.org/）に掲載しておりますので（ＰＤＦファイル）ダウンロードしていいただき、必要事項をご記入の上、 学会事務局にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号
一般社団法人教育システム情報学会　事務局宛
TEL/FAX 06-6324-7767　　Email：secretariat@jsise.org

事　務　局　よ　り

教育システム情報学会会員　各位

一般社団法人教育システム情報学会
会　長　　前迫　孝憲
事務局長　家本　修

会員情報管理システムの運用開始と、
2015 年度年会費請求書発行のお知らせ

教育システム情報学会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学会の活動にご理解、ご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて、このほど兼ねてよりお伝えしておりました、会員情報管理システムの運用を開始いたしました。つきましては、会員専用ページ（会員のみ接続可能）を設置いたしましたのでご案内申し上げます。 本システムに関しましては、株式会社国際文献社へ業務委託することが理事会で承認され、業務委託に際し、守秘義務契約「個人情報の取り扱いに関する覚書」を取り交わし終結しております事を合わせてご報告申し上げます。

尚、本年度より年会費の請求は、会員専用ページより会員様ご本人で、ご確認頂くようになります。**2015 年度年会費については、2015 年 4 月 1 日付にて発行されました**のでお知らせいたします。必ずログイン頂きご確認くださいますようお願いいたします。
例年、年会費は前納をお願いしておりましたが、本年度に関しましては、システムの運用開始に合わせたため４月１日となりました。皆様にはご不便をおかけしました事お詫びいたしますとともに、次年度分より、従来通り前年度中の請求（前納）に戻りますので、どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

また、4 月は移動の季節となりますので、**ご登録情報にご変更がある場合は、速やかに登録情報の更新**をお願いいたします。

会員専用ページのご案内

会員専用ページ URL：https://bunken.org/jsise/mypage/Login

※会員専用ページのＵＲＬは、会員情報管理システムの業務委託をしております、株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。
1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが下記事務局までご連絡をお願い致します。
ログインには、名簿システム（1 月にログイン）でご利用いただいた ID とパスワードが必要となります。
パスワードをお忘れになった場合は、ID（会員番号）とこのメールを受信されたメールアドレスで、上記ウェブサイトにて照会できます。

何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

■お問い合わせ先
教育システム情報学会（JSiSE 本部事務局）
〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101
Tel/Fax：06-6324-7767　　Email：secretariat@jsise.org

～年会費請求書ついて～

2015 年度の年会費請求書に関しましては前ページでご案内させて頂いた通り、2015 年 4 月 1 日付にて発行いたしました。つきましては、会員専用ページから会員様ご本人により、ダウンロードしていただきますようお願いいたします。また、ご納付には、クレジットカードでのお支払いをお薦めしております。是非ご協力頂きますようお願いいたします。

年会費未納の会員様につきましては、2014 年度以前の未納が続きますと、ご入金が確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、定款の定めにより除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。ご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局 E-mail：secretariat@jsise.org までお問い合わせ下さい。

◎　年会費のご案内　◎

■正会員　：7,000 円
■学生会員：4,000 円
■賛助会員：50,000 円
■入会金：1,000 円（正会員・初年度のみ）
■研究報告年間購読：4,000 円（購読希望者のみ）

◎　お支払い方法　◎

●クレジットカードでのお支払い
●コンビニエンスストアでのお支払い
※会員専用ページよりお手続きください
※出来るだけ上記お支払方法をご選択ください。

●ゆうちょ銀行でのお支払い
口座番号　00180-6-709632
口座名義人　一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ　ｼﾔ)ｷｮｳｲｸｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳｶﾞｯｶｲ
※他銀行より　支店名　〇一九店（ゼロイチキユウ）
当座預金　0709632

新入会員の紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。2015/2～2015/3

名前	所属機関	名前	所属機関
冨永哲貴	産業技術短期大学	渡邊浩之	
杉木大輔	獨協医科大学	浦出幹雄	
森下正基		髙橋　聡	東京工業大学大学院
八木街子	北里大学	花川直己	香川大学
大嶋良明	法政大学	河野義広	東京情報大学

他団体　協賛・後援のお知らせ

協　賛

■フジサンケイ ビジネスアイ『ｅラーニングアワード 2015 フォーラム』
・日時：2015 年 10 月 28 日(水)～30 日(金)
・会場：ソラシティカンファレンスセンター（東京御茶ノ水）

■日本工学教育協会『平成 27 年度工学教育研究講演会』
・日時：2015 年 9 月 2 日(水)～4 日(金)
・会場：九州大学　伊都キャンパス（福岡市）

後　援

■第 26 回プログラミングコンテスト委員会『全国高等専門学校第 26 回プログラミングコンテスト』
・日時：2015 年 10 月 11 日(日)～12 日(月・祝)
・会場：ホクト文化ホール（長野市）

北信越支部より活動報告

[若手研究者育成ワークショップ・学生研究発表会]

■日　時：2015 年 3 月 4 日（水）

■会　場：仁愛大学

■概　要：北信越支部 学生研究発表会に先立ち、若手研究者育成ワークショップ「研究成果を磨く」を開催しました。このイベントは主に博士課程学生を対象に、研究成果を磨き上げ、論文投稿を促進するために、北信越支部が企画したものです。

ワークショップでは、まず JSiSE 副会長 仲林清先生による研究論文のまとめ方についてのご講演をいただきました。研究における問題提起と問題を解決するための仮説設定の重要性が説かれるとともに、学術論文の投稿から採録に至るプロセスとその意味合い・受け止め方についての示唆深いお話をいただきました。

このあと、博士課程学生 3 名（北陸先端大 李さん，信州大 永井さん，長岡技科大 大前さん），指定討論者（千葉工業大 仲林先生，長岡技科大 北島先生，長岡技科大 大前さん）および参加者による研究討論会を行いました。ここでは、各自の研究概要について発表を行った後に指定討論者・参加者から多数のコメント・質疑が寄せられ、研究の位置づけの明確化や研究の発展可能性について考えていただく機会となりました。

聴講者からは、「博士課程の学生の発表や質疑を聞いて、来年はここで発表できるクオリティまで自分の研究を高めたいというモチベーションが強くなった。」「教員と学生の討論もものすごく迫力があり、圧倒された。」という感想がありました。

中国支部より活動報告

[学生研究発表会]

■日　時：2015 年 2 月 28 日（土）

■会　場：広島大学工学部

■口頭発表：12 件　　■ポスター発表：7 件

■概　要：中国地区 学生研究発表会（実行委員長：林 雄介）が開催され、5 件の発表（口頭発表 3、ポスター発表 2 件）が優秀発表賞を受賞しました。

東 海 支 部 よ り 活 動 報 告

［学生研究発表会］

■日　時：2015 年 3 月 4 日(水)11 時～
■会　場：愛知県立大学名古屋駅サテライトキャンパス
■発　表：10 件
■概　要：東海地区 生研究発表会が開催され、前迫会長による社会人基礎力を中心とした講演を実施した。論文と発表の評価をして優秀賞 2 名を選定して、会長から表彰状が渡された。東海支部独自企画として支部長賞をつくり、発表した学生から発表評価が一番の学生を 1 名選定して、支部長から表彰状が渡された。 会長を囲んで記念撮影を行うなど和やかな雰囲気で締めくくられた。

［講演会］

■日　時：2015 年 3 月 7 日(土)　東海支部臨時総会後 16 時 20 分より
■会　場：名城大学天白キャンパス
■概　要：

講師：尾崎正弘 先生（中部大学）
演題：紙テキストと Web を融合した新しい教育指導について
　　－授業と授業外を連続させた持続可能な学習支援－
尾崎先生からは、長年に渡る Web 上の教材開発と学習支援について豊富な経験を踏まえた講演があった。

講師：浦尾　彰 先生（鈴鹿工業高等専門学校）
演題：支援物資物流システムの開発
浦尾先生からは震災時の支援物資の物流に関しての学生による新提案システムの紹介があった。

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

ICKM 2015: 11th International Conference on Knowledge Management

- **開催期間**：November 4- 6, 2015
- **開催地**　：Osaka, JAPAN
- URL　　：http://ickm.kis.osakafu-u.ac.jp/
- **論文投稿スケジュール**：　Full / Short Papers, Poster Papers due: May 31, 2015
- **備考**：Theme-based organized session:
  " Learning and Teaching Support in Knowledge Management "

ICCE2015: The 23rd International Conference on Computers in Education

- **開催期間**：November 30 - December 4,2015
- **開催地**　：Hangzhou, China
- URL　　：http://icce2015.zjut.edu.cn
- Conference Theme: Transforming Education in the Big Data Era
- **論文投稿スケジュール**：Paper Submission Due: May 12,2015
  Notification of Acceptance: August 4,2015